

一般社団法人日本プライマリ・ケア連合学会 プライマリ・ケア認定薬剤師研修会

「最適な抗菌薬・抗ウイルス薬の選択と投与量設計の考え方」

(2025年5月11日 日曜日【午後】)オンライン開催案内

【一般社団法人日本プライマリ・ケア連合学会は日本医学会の第109分科会です。そして、プライマリ・ケア認定薬剤師制度は公益社団法人薬剤師認定制度認証機構（CPC）から「特定領域」の認定制度としての認証（認証番号P02）を取得いたしております。】

感染症治療ではチーム医療が進んでおり、抗菌薬適正使用支援チームでは、医師の診断をもとに薬剤師が患者ごとに適切な薬を選び、用法・用量を提案します。感染臓器を特定することで、原因菌を想定しやすくなります。さらに、年齢や基礎疾患、院内・市中の違いも考慮して菌を絞り込みます。抗菌薬の選択では、患者背景、薬の抗菌スペクトル、副作用、相互作用などを考慮し、腎機能に応じた用量調整を行います。本研修では、症例を通じて適切な薬の選び方を学びます。

本研修はハイブリッドでの研修会開催とさせていただきます。オンラインでの研修に参加するには、一人一台のインターネットに接続可能なPC（カメラとマイク付き）、またはタブレットが必要となります。スマートフォンでの参加はご遠慮願います。

(細則による必須領域：A, C, D)

要 項		
1	主 催	一般社団法人 日本プライマリ・ケア連合学会 薬剤師部会研修担当
2	研修期間	2025年5月11日（日）【午後】13:20～16:30
3	研修会場	◆現地会場：アーバンネット神田カンファレンス 〒101-0047 東京都千代田区内神田3丁目6-2 アーバンネット神田ビル 2F・3F ◆オンライン会場：ZOOM ハイブリッドでの研修会開催になります。オンラインでの参加の方は申し込みで入力したメールアドレスに配信URLを送付いたしますので、開始時間になりましたら、そのURLをクリックして研修会にご参加下さい。研修会終了後、Googleフォームへのアンケートに当日中にご回答下さい。
4	認定単位	薬剤師:2単位(認定薬剤師単位)、医師:3単位(更新のための単位 ※但し1日単位は5単位上限とする)
5	受講資格	薬剤師、医師、歯科医師、看護師、医療職、医療関係者
6	定員	現地30名・オンライン60名(ワークショップ形式)
7	受講申込	締め切り:2025年4月25日(金)午後5時 ホームページからの申込による先着順となり、定員になり次第締め切ります。 電話、ファクシミリ、メールによる申込は受付けておりません。
8	受講振込	申込書を受信後、順次ご入金方法についてご案内させていただきます。 ※ 指定期日以内にお振込みの確認ができない方は、キャンセル扱いとなりますのでご留意願います。
9	受講料	5,500円 但し、日本プライマリ・ケア連合学会会員は4,000円 ※ 受講料入金後のキャンセル又は欠席の場合、原則として受講料の返金はできません。

申し込み先：日本プライマリ・ケア連合学会事務局担当係プライマリ・ケア認定薬剤師研修会事務局
〒550-0001 大阪府大阪市西区土佐堀1-4-8 日栄ビル703A 有限会社あゆみコーポレーション内

TEL:06-6449-7760 FAX:06-6441-2055 jpc@ayumi.jp

プログラム

2025年5月11日(日曜日)

13:20~16:30	<p>最適な抗菌薬・抗ウイルス薬の選択と投与量設計の考え方</p> <p style="text-align: right;">講師：松元 一明</p> <p>(研修内容)</p> <p>感染症領域ではチーム医療が進んでおり、抗菌薬適正使用支援チームでは、医師の診断に基づき、薬剤師が患者個々に応じて薬を選択し、用法用量を提案し、最適治療を行っている。感染症診療では、まず感染臓器・部位がどこか推定することが重要である。感染臓器・部位により原因菌の発現頻度が異なるため、感染臓器が判明すれば原因菌を想定することができる。さらに、年齢、基礎疾患、院内か市中かなど感染症に罹患した場所によっても想定される原因菌が絞られる。ターゲットとなる原因菌が想定できれば、その原因菌に抗菌活性を有し、患者背景、抗菌スペクトルの広さ、薬物間相互作用、副作用などを考慮し抗菌薬を選択する。そして、腎排泄の薬であれば腎機能を推算し、PK/PD 理論に基づき用法用量を決定する。本研修会では、症例を通して、抗菌薬、抗ウイルス薬の選択ならびに投与量設計について、その思考過程を共有したい。</p> <p>(細則による必須領域 A, C, D)</p>
-------------	---

20分以上の遅刻・早退は原則単位になりませんのでご注意ください。

【講師紹介】

氏名：松元 一明 (薬剤師)

所属：慶應義塾大学 薬学部 薬効解析学講座